



あら 新たなる 飛翔、 恵みの 杜に 築く 浪漫の 湖

平成21年12月

発行 盛岡地方振興局土木部築川ダム建設事務所

『付替国道3号橋』の連結式を行いました!!

12月8日(火)、晴天のもと、盛岡地方振興局長ほか約40人の関係者が出席し、付替国道3号橋の連結式を行いました。

付替国道3号橋は築川道路の中で2番目に長い橋梁(橋長354m)で、「鋼ストラット付箱桁橋」という県内初の形式となっており、橋桁の側面にストラット管という部材が配置されており、非常に特徴的な型式です。

今後は、高欄や舗装などの整備を進めていく予定です。



コンクリート投入



出席者全員で万歳三唱



至 盛岡市街

付替国道3号橋

至 宮古



3号橋から見た岩手山



3号橋側面イメージ図

ストラット管

中野小学校の児童が築川ダムの見学(広報コーナー)に訪れました!!

11月13日(金)に、築川流域に住む中野小学校5年生など10名が、築川について学習・発表する一環として、休校日を利用して築川ダム建設事務所を訪れ、築川ダムの役割や工事の状況などを勉強しました。

事務所内の広報コーナーで、パンフレットやパネルにより「築川ってどんなところかな?」、「築川ダムのお仕事って?」、「どんなダムができるの?」、「建設事務所ではどんなお仕事をしているの?」について説明を受けた後、ダム模型に水を流す実験により、ダムの効果を実感してもらいました。

子どもたちからは、「ダムの仕事を知ることができて良かった。」、「自分の家も浸水区域ということがわかったのでダムを早くつくってください。」などの感想をいただきました。



ダムはどこにできるのかな?

築川ダムのダムおだよ。来てくれてありがとう!!



大雨を降らせたらどうなるか、実験しよう

川目小学校で築川ダムの出前授業を開催しました!!

11月4日、6日、9日の3日間、築川ダムについて理解を深めていただくため、昨年度に引き続き、築川流域の川目小学校5、6年生の児童を対象に「出前授業」を開催しました。

校内の授業では、築川の水などで水質のバックテストを行ったり、昭和20年以降の航空写真を見ながら流域の開発の様子を確かめたほか、流域の歴史や文化を題材とした築川ダムオリジナルの『築川風土カルタ』を体験し、川のはたらきや地域とのかかわり、流域の歴史と自然を学びました。

また、現地見学では、パネルなどによる工事説明やダム模型の実験、トンネル内のクイズラリー、付替道路見学などを体験し、最後に顔写真入りの修了証カードを渡して『出前授業』を終了しました。

参加児童からは、「自分達の住んでいる築川の自然、歴史がよく分かった」、「大雨が降るとたいへんなので、ダムの大切さがよくわかった」などの感想が聞かれました。



カルタを使って歴史を勉強しました



トンネル内のクイズラリー



橋の上で記念撮影



班ごとに問題に答えて貰いました

油の管理にご注意ください

朝晩の冷え込みも厳しくなり、暖房が欠かせない季節となりました。この時期になりますと、毎年、油の河川への流出事故が多発します。

◆油が川に流出すると・・・

- ・浄水場がストップ → 水が飲めない、トイレ・お風呂が使えない!!
- ・自然に悪影響!
- ・油の回収・処理に多額の費用!! → 費用は原因者に請求されます!

◎原因は・・・

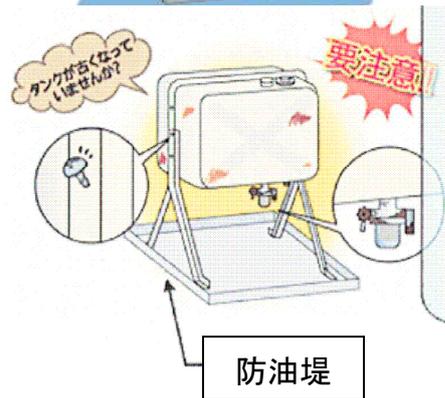
- ・操作ミス(給油コックなどの閉め忘れ)や機器の不備(老朽化、破損)などの不注意です。

事故を防ぐために・・・

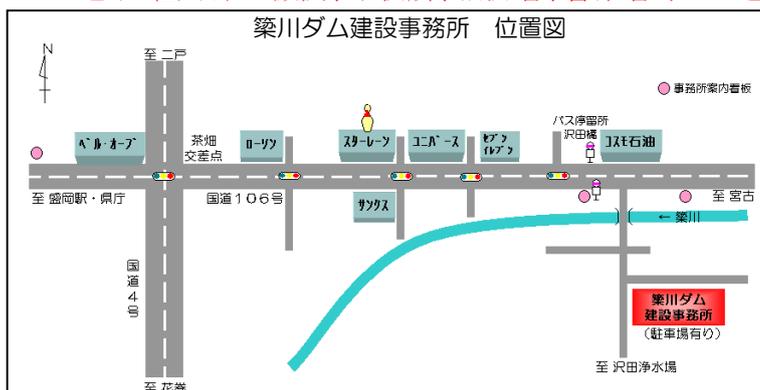
- ・給油中その場を離れない。
- ・油を受ける防油堤を設置する。
- ・落雪からタンクや配管を守る。
- ・定期点検を行う。

◆事故を起こした時、発見したときは・・・

お近くの国や県の機関、市役所、消防署、警察署等へご連絡ください。



防油堤



詳細の情報をお求めの方はホームページでもご覧になれます。(「岩手県—築川ダム建設事務所」と検索。)

これからも定期的に皆様方に情報を発信してまいりますので、ご意見やご要望をお寄せください。

〒020-0817 盛岡市東中野字沢田94-1

TEL019-652-8821

※受付:月~金 8:30~17:30

FAX019-652-8822

E-mail: BA0011@pref.iwate.jp

築川ダムの計画内容について、あらためて皆さまにお知らせいたします。

築川ダムの役割

築川ダムは、北上川水系築川の盛岡市川目地先に建設する**多目的ダム**(洪水調節のほかに利水目的(上水道など)もあるダム)です。

1. 洪水調節 (暮らしに安らぎを)

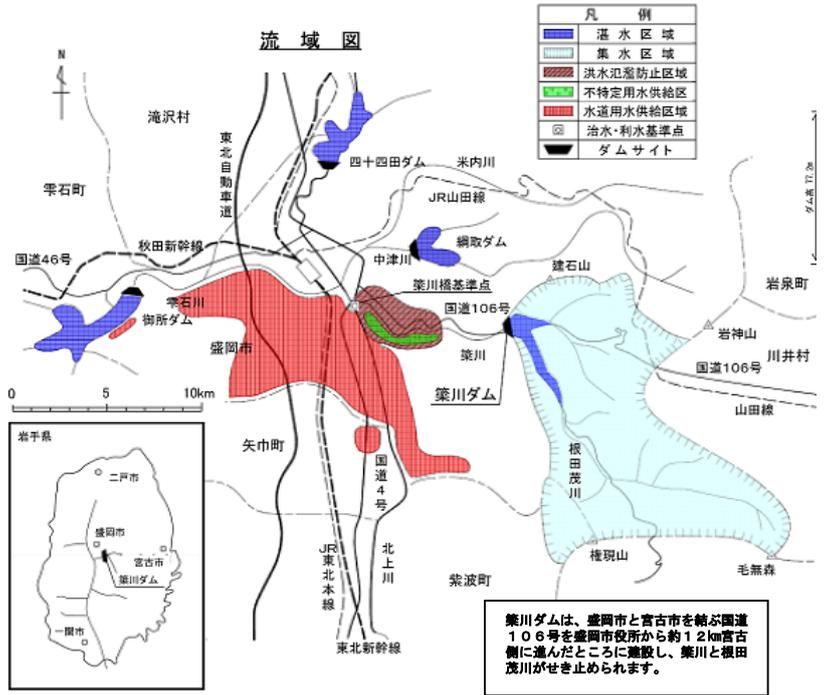
台風や大雨により増水した川の水をいったん貯めておいて、川の水があふれないように調節しながら安全に流します。

2. 既得取水の安定化、河川環境の保全等 (暮らしにうるおいを)

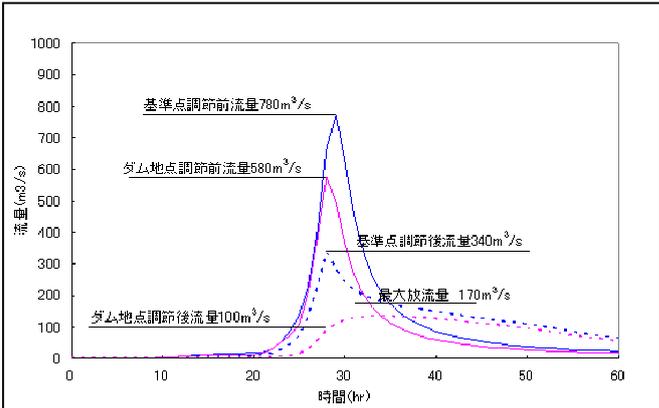
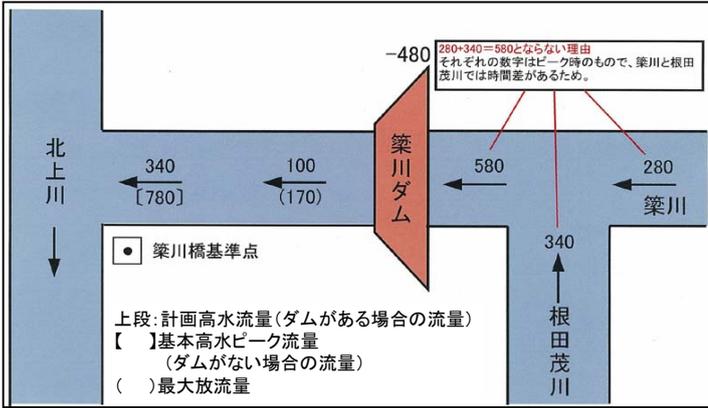
ダムから水を流し、築川沿いの農業用水として使われるなど、豊かで清らかな築川を維持し、うるおいのある地域の環境を守ります。

3. 水道用水の確保 (暮らしに豊かさを)

私たちの暮らしに欠かすことのできない水道用水を確保します。(築川ダムでは盛岡市と矢巾町に、1日最大5,000m³を供給します。)

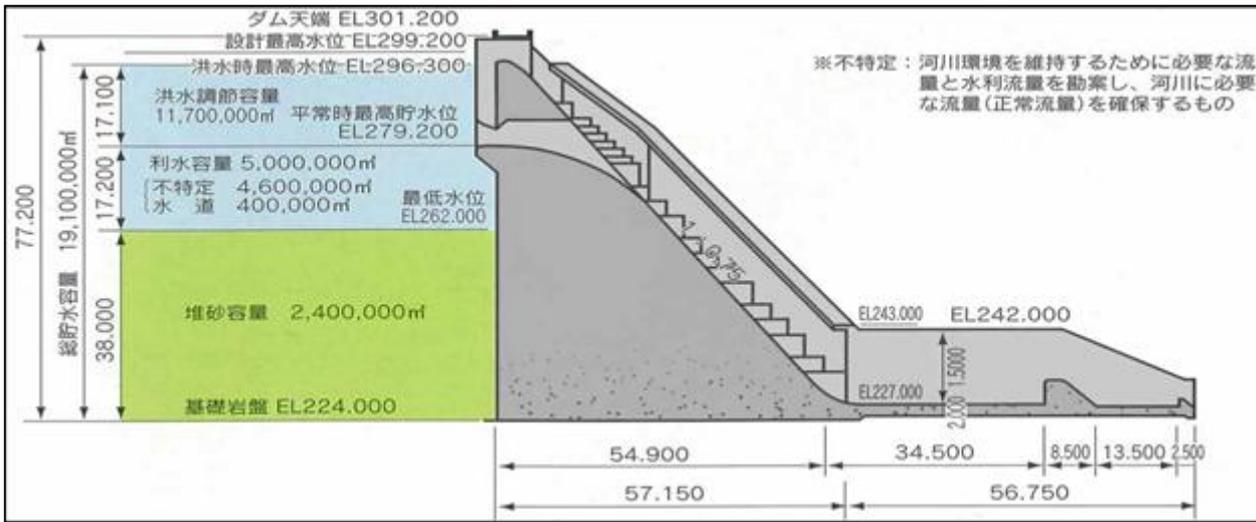


築川ダムは、盛岡市と宮古市を結ぶ国道106号を盛岡市役所から約1.2km宮古側に進んだところに建設し、築川と根田茂川がせき止められます。



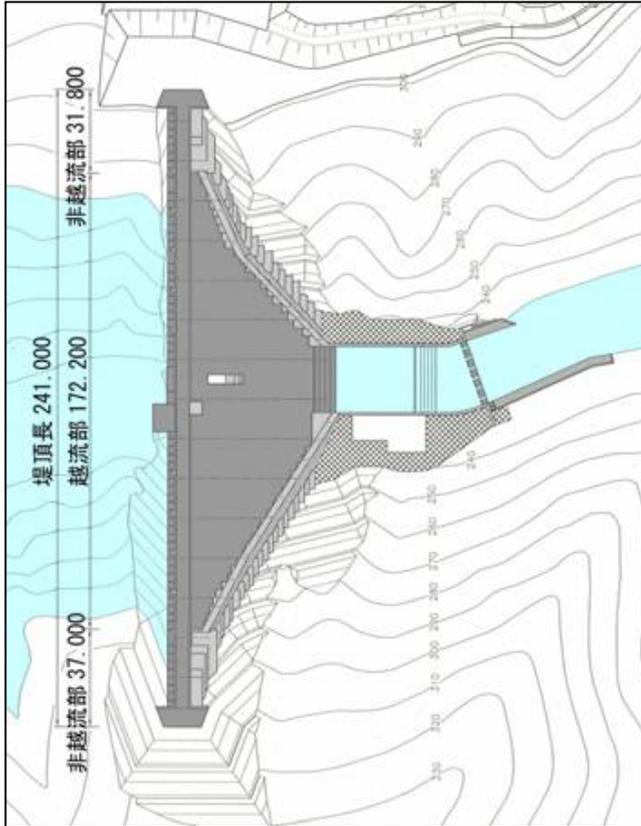
ダム地点の計画高水流量580m³/sのうち480m³/sの洪水調節を行い、北上川合流点の築川橋治水基準点において、基本高水流量780m³/sを計画高水流量340m³/sに低減し、下流区間で実施済みの河川改修と併せて概ね100年に1回程度の確率の降雨(210mm/2日)による洪水を安全に流下させます。

ダムの標準断面図及び容量配分図

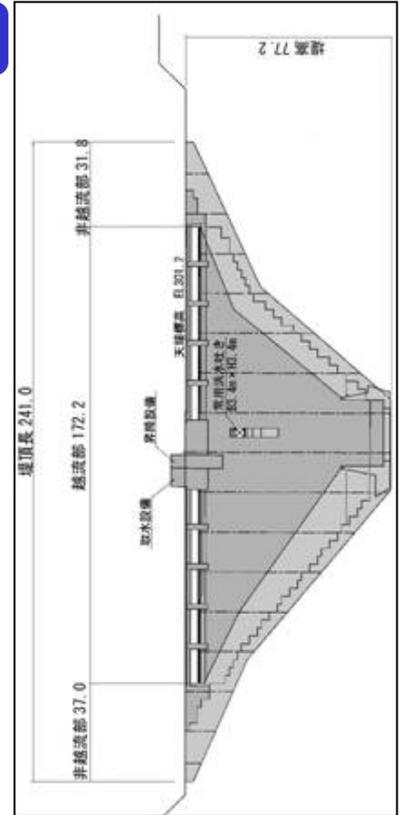


※不特定：河川環境を維持するために必要な流量と水利流量を勘案し、河川に必要な流量(正常流量)を確保するもの

平面図



下流面図



進捗状況と今後の予定

◆事業費

530億円

※ このほかに、付替国道の拡幅、前後の取り付けに係る経費約159億円、付替県道の拡幅に係る経費約26億円を見込んでいます。

◆工期

平成30年度の完了を予定しています。

※ 付替国道106号は、付替県道の一部区間と併せて、平成24年度末頃の供用開始を予定しています。

◆進捗状況

平成21年度末までの事業費は270.6億円、進捗率は51.1%と見込んでいます。

また、付替国道・県道の拡幅等に係る経費を含めた平成21年度までに事業費は437.8億円、進捗率は61.2%と見込んでいます。

年月	内容
昭和53年4月	築川ダムの予備調査に着手
昭和57年4月	下流区間の中小河川改修に着手
昭和62年4月	実施計画調査(国庫補助)として採択
平成4年4月	国庫補助による建設事業として採択
平成6年11月	ダム計画地を河川予定地に指定
平成8年11月	湛水区域における補償基準妥結調印
平成9年4月	家屋移転開始
平成9年10月	工事用道路工事着手
平成11年4月	付替国道106号工事着手
平成13年10月	付替県道盛岡大迫東和線工事着手
平成17年12月	岩手県大規模事業評価委員会から事業継続の答申
平成18年5月	築川ダム建設事業に係わる環境影響評価報告書の公表
平成19年3月	築川ダム建設事業全体計画変更認可
平成19年4月	築川流域懇談会から「意見書」の提出
平成20年3月	築川を含む盛岡東圏域河川整備計画認可

	全体事業費	平成21年度まで(見込)
築川ダム	530億円	270.6億円 (51.1%)
付替国道の拡幅・前後の 取り付けにかかる経費	約159億円	142.0億円 (89.4%)
付替県道の拡幅に係る経費	約26億円	25.1億円 (95.7%)
合計	約715億円	437.8億円 (61.2%)

今後も、築川ダムの計画内容についてお知らせいたしますので、ご意見やご質問をお寄せ下さい。